

八代支援学校だより 8月号



校長室から

【校訓】

- ・楽しく
- ・仲よく
- ・元気よく

令和3年8月25日
八代市立八代支援学校
校長 東田 倫明

35日間の長い夏休みが終わりました。今年の夏休みは、豪雨により全国各地で大きな被害が出ました。被害を受けられた方々へ、心からお見舞い申し上げます。

さて、東京2020パラリンピック競技大会が8月24日（火）に開幕しました。コロナ禍を創意工夫で乗り越えて練習を重ね、夢舞台の切符をつかんだ日本代表選手は過去最多となる252人です。そのうち知的障害クラスの選手は21人で、陸上に8人、水泳に8人、卓球に5人が出場予定です。それぞれが培ってきた技や身体能力で自身の限界に挑戦し、きっと大きな可能性を見せてくれると思います。

いよいよ2学期がスタートしました。8月25日（水）の始業式で、校長が子供たちに話したことを紹介します。

みなさん、おはようございます。2学期始まりの式、始業式を迎えました。新型コロナウイルスに感染することなく、こうしてみんなが元気に始業式に参加できたことを、本当にうれしく思います。

さて、夏休みに入る前に、校長先生からみなさんにがんばってほしいことを二つお話ししました。何だったか覚えていますか。

それは「あいさつ」と「お手伝い」です。

「あいさつ」は、きちんとできましたか。

「お手伝い」は、どんなことをしましたか。この始業式が終わり、それぞれの教室で、夏休みの振り返りをしてください。

さて、今日から2学期が始まりました。校長先生は、みなさんにがんばってほしいことがあります。それは、昨年から校長先生が言い続けていることです。何でしょう。そうです。「あいさつ」です。確かに元気にあいさつをしたり、笑顔であいさつをしたりする人が増えています。また、手の動きや目の動きであいさつをしてくれる人もいます。このあいさつの輪が八代支援学校中にさらに大きく広がってほしいと思います。

もう一つ、みなさんにがんばってほしいことが「チャレンジ」です。学校は、新しいことを学ぶ場です。初めはうまくできないかもしれません。でも、うまくいかない時こそ、「チャレンジ」です。先生方や友だちと一緒に挑戦しましょう。この「チャレンジ」を繰り返すことで、少しずつできることが増えて自分に自信がつきます。自信がつくと、次の新しいことに「チャレンジ」したくなります。

2学期は、自分から「チャレンジ」です。一人で自信がなければ、先生や友だちと一緒に「チャレンジ」です。

みんなで力を合わせて、すてきな2学期にしていきましょう。

これで校長先生のお話を終わります。

命を守る月間について

八代市では、夏季休業最後の週から9月第2週までを、「命を守る月間」としてしています。

例年、2学期のスタートにあたり様々な理由で登校に対する不安を抱え、心身が不安定になる児童生徒が各学校で見られます。また、平成27年版自殺対策白書（内閣府）の資料でも指摘されているとおり、18歳以下の自殺は、学校の長期休業明けにかけて増加する傾向があります。衝動的な行動を誘発し生命の危険を伴う事態にならないためにも、全職員で児童生徒一人一人を見守るとともに、保護者のみなさまには、ご家庭における子供たちの小さな変化を見逃さないようよろしくお願いいたします。